

# 民間提案型官民連携モデリング事業(R6 ③-A)

(実施主体:八千代エンジニアリング・三井住友信託銀行・三井住友トラスト基礎研究所共同提案体 / 地方公共団体:静岡県浜松市)

## 【橋梁維持管理に係る「包括的民間委託×予防保全ファイナンス」の導入可能性調査】

【分野:インフラ維持管理・修繕等】【対象施設:橋梁】【事業手法:包括的民間委託方式・資金調達方式】

### ①調査概要

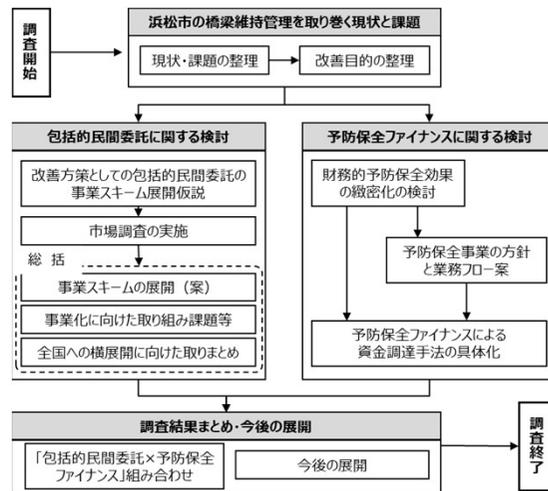
#### ▼調査の目的

- 橋梁の維持管理において、民間ノウハウ活用の最大化を図りつつ、費用がかかる橋種・工種を特定し、その予防保全の実行を促進することで、将来の修繕費用増加を抑制する、**包括的民間委託と資金調達手法(予防保全ファイナンス)を組み合わせた新たなスキームの導入可能性調査**を行う。

#### ▼解決したい課題

- 本スキームの社会実装によって業務効率化と予防保全の資金確保が両立し、多くの地方公共団体が抱える**人員・資金不足の課題**を解決する。

### ②実施方針・フロー



#### ▼包括的民間委託に関する検討

- 関連法令の整理を含め、事業スキームの展開案を仮説し、市場調査として浜松市の橋梁定期点検業務の主要な受注実績業者(市内建設コンサルタント業者)へヒアリングを実施
- 事業スキームの展開案や事業化に向けた課題、全国への横展開に向けた考え方を整理

#### ▼予防保全ファイナンスに関する検討

- 予防保全事業による財務的な効果について、浜松市の実橋梁データをもとに、劣化予測モデルを用いた定量化手法を構築
- 予防保全による財務的効果の定量評価指標と連動した、事業資金の調達手法(補助金、地方債)について検討し、予算措置を中心に準備・実行手順を具体化

#### ▼調査結果まとめ・今後の展望

- 包括的民間委託と予防保全ファイナンスの組合せとしての理想的な事業スキーム案を検討し、実現に向けた課題等を整理

【先進性】産官学による領域横断型の連携体制を構築し、多分野の知見を活用した複合的な課題解決アプローチを創出

### ③調査自治体概要



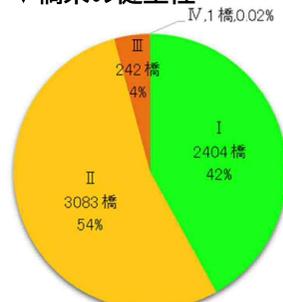
浜松市

#### ▼自治体概要

大都市制度区分  
都道府県  
総人口(2024.9.1現在)  
面積  
管理道路延長  
管理橋梁数  
担当部署

政令指定都市  
静岡県  
785,817人  
1,558.06km<sup>2</sup>  
約8,500km  
約5,800橋  
土木部 道路保全課

#### ▼橋梁の健全性



出典:浜松市道路橋長寿命化計画(R6.3)

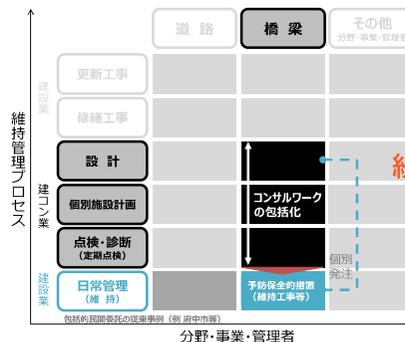
- 橋梁数が多く、維持管理に膨大な投資が必要
- 健全性IIの橋梁数が半数を占め、**どのように効果的に予防保全していくかが課題**

### ④スキームの概要

yeo 八千代エンジニアリング株式会社

#### コンサルワークを中心とした包括的民間委託

- 定期点検等の業務の包括化・複数年化 / 複数企業による共同受注等

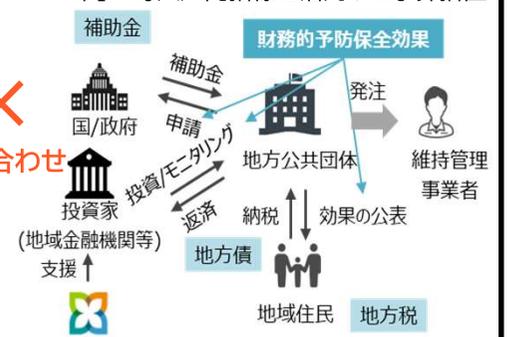


三井住友信託銀行 SUMITOMO MITSUBI TRUST BANK

三井住友トラスト基礎研究所 SUMITOMO MITSUBI TRUST RESEARCH INSTITUTE

#### 予防保全ファイナンス

- 予防保全の評価指標「財務的予防保全効果」の導入 / 同指標を活用した予算措置



# 民間提案型官民連携モデリング事業(R6 ③-A)

(実施主体:八千代エンジニアリング・三井住友信託銀行・三井住友トラスト基礎研究所共同提案体 / 地方公共団体:静岡県浜松市)

## 【橋梁維持管理に係る「包括的民間委託×予防保全ファイナンス」の導入可能性調査】

【分野:インフラ維持管理・修繕等】【対象施設:橋梁】【事業手法:包括的民間委託方式・資金調達方式】

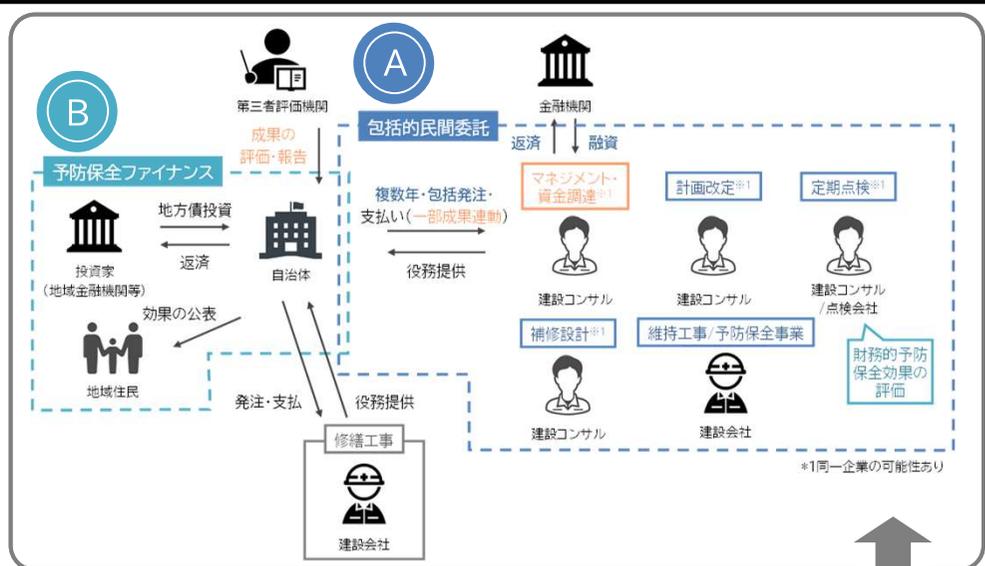
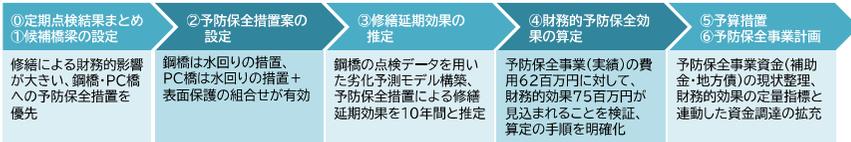
### ⑤調査結果

#### ▼包括的民間委託に関する検討結果(A)

- 従来受発注状況を踏まえて始めやすい形にてコンサルワークの包括的民間委託を導入し、段階的に維持工事等や民間資金調達を含む形へ展開する(事業化に向けた展望図STEP ①~③参照)。

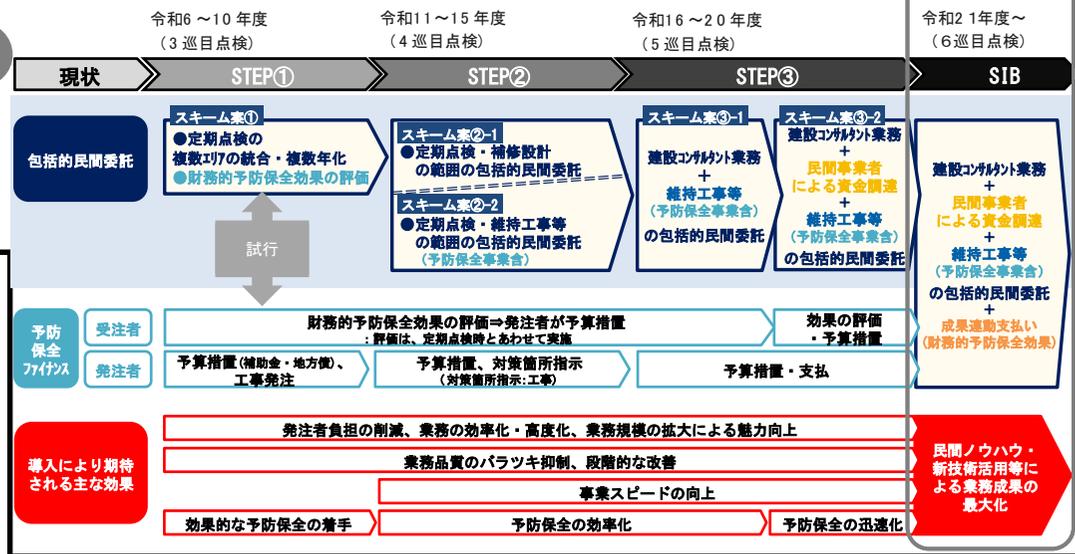
#### ▼予防保全ファイナンスに関する検討結果(B)

- 予防保全事業計画策定までのプロセスを具体化し、浜松市の先進的好事例を含め得られた成果を形式知化することで全国の地方公共団体に展開していく。



#### ▼「包括的民間委託×予防保全ファイナンス」の理想形案(A+B)

- 事業の創出するインパクトをロジックモデルで可視化、包括的民間委託スコープの拡大と財務的予防保全効果の指標としての成熟化を連動して展開、将来的なソーシャル・インパクト・バンド(SIB)スキームへの展望と社会実装シナリオを策定した。



### ⑥事業化に向けた展望

▼令和7~9年度(3巡目点検)の期間において、包括的民間委託の導入と地方債による資金調達を試行

- 令和7年度に先行モデル自治体を選定し、具体的な検討に着手する。
- 令和8~9年度において、図書整備や契約関連の準備作業を完了し、事業開始を目指す。